

「あすのちばを拓く10のちから」の概要

(千葉県, 平成18年3月)

県では、分権化の進展や本格的な少子高齢化社会の到来など、最近の情勢の変化を踏まえ、中長期的な基本方針である「あすのちばを拓く10のちから」を改定しました。

1 目指すべき千葉県の姿 - 千葉県の持続的な発展と県民一人一人の幸せ -

私たちが目指すのは、県民一人ひとりが、豊かさを実感し、理不尽な理由で、つらく悲しい思いをすることなく、自信と誇りを持って暮らせる千葉県であり、経済的にも文化的にも高い水準を維持し、発展し続ける千葉県です。

2 県政運営の基本理念 - 県民と行政の協働による分権型社会の実現 -

県政の出発点は県民です。常に県民の視点に立ち、県民とともに歩み、地域住民のニーズに応え、県民からの県政提言を真摯に受け止めながら、県政運営に当たることを、県政にたずさわる者すべての基本姿勢とします。

そうした県民のちからの集結が県政運営の原動力です。

3 10のちから

「あすのちばを拓く10のちから」は、県民や地域が本来持っている根源的なちからに着目するものであり、この「地域力・県民力」の循環を巻き起こすことによって、持続的に発展する千葉県づくりを目指すものです。

生きるちから

子育てから健康づくり、医療、福祉の各施策・サービスについて、地域社会を軸とした融合を進め、誰もが生き生きと地域で暮らすことができる社会の実現を目指します。

ともに育つちから

県民一人ひとりが主体的に文化を支え、創造する活力ある地域づくりを進めます。また、個性が輝き心身ともに健康で胸にあふれる希望を持ってたくましく未来をひらいていく子どもたちを、地域と協働して育てていきます。

みどりのちから

自然環境の保全・再生に向けた取組を進めるとともに、「環境への負荷が少ないライフスタイルが新たな生活文化として定着した社会」「あらゆる事業者が資源循環・環境負荷の軽減に取り組む社会」「人と自然が共生できる社会」の実現を目指します。